



2020年10月期第1四半期 決算説明資料

2020年3月13日

株式会社 マネジメントソリューションズ

証券コード：7033

- 1. 2020年10月期第1四半期決算概要**
- 2. 2020年10月期業績予想**
- 3. 補足説明資料**



1. 2020年10月期第1四半期 決算概要

1. 2020年10月期第1半期決算エグゼクティブ・サマリー

- 売上高は前年同期比で約40%増
- 売上高、各段階利益ともに計画を上回り着地



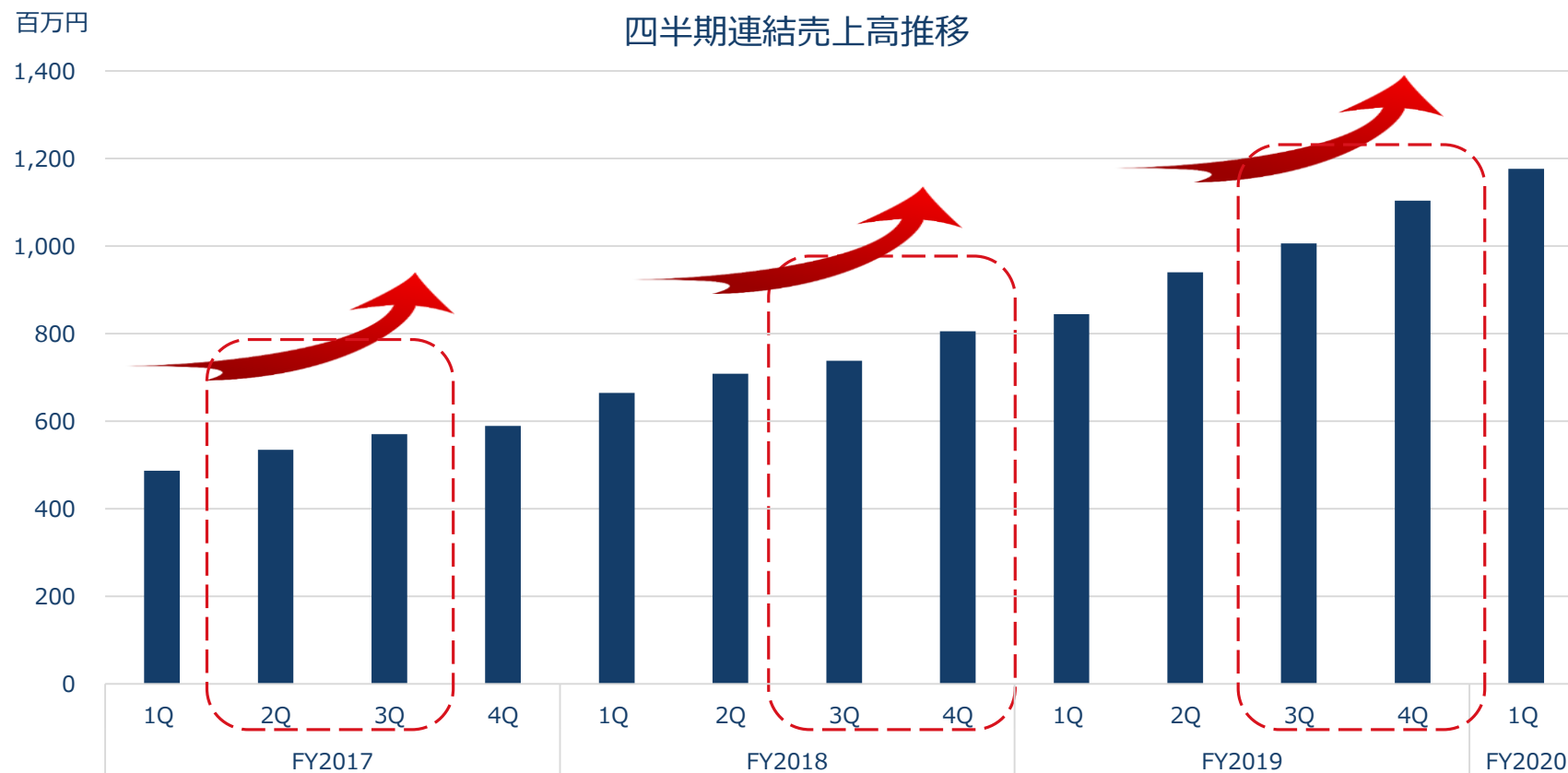
2. 連結損益計算書

- 採用、広告、本社移転など積極投資を行ったため、利益は前年同期比で減少しているが、売上高は前年同期比約**140%**と高い成長率を維持

単位（百万円）	FY2019 1Q	FY2020 1Q	前年同期比
売上高	844	1,176	139%
営業利益	58	△31	—
経常利益	57	△32	—
純利益	38	△24	—

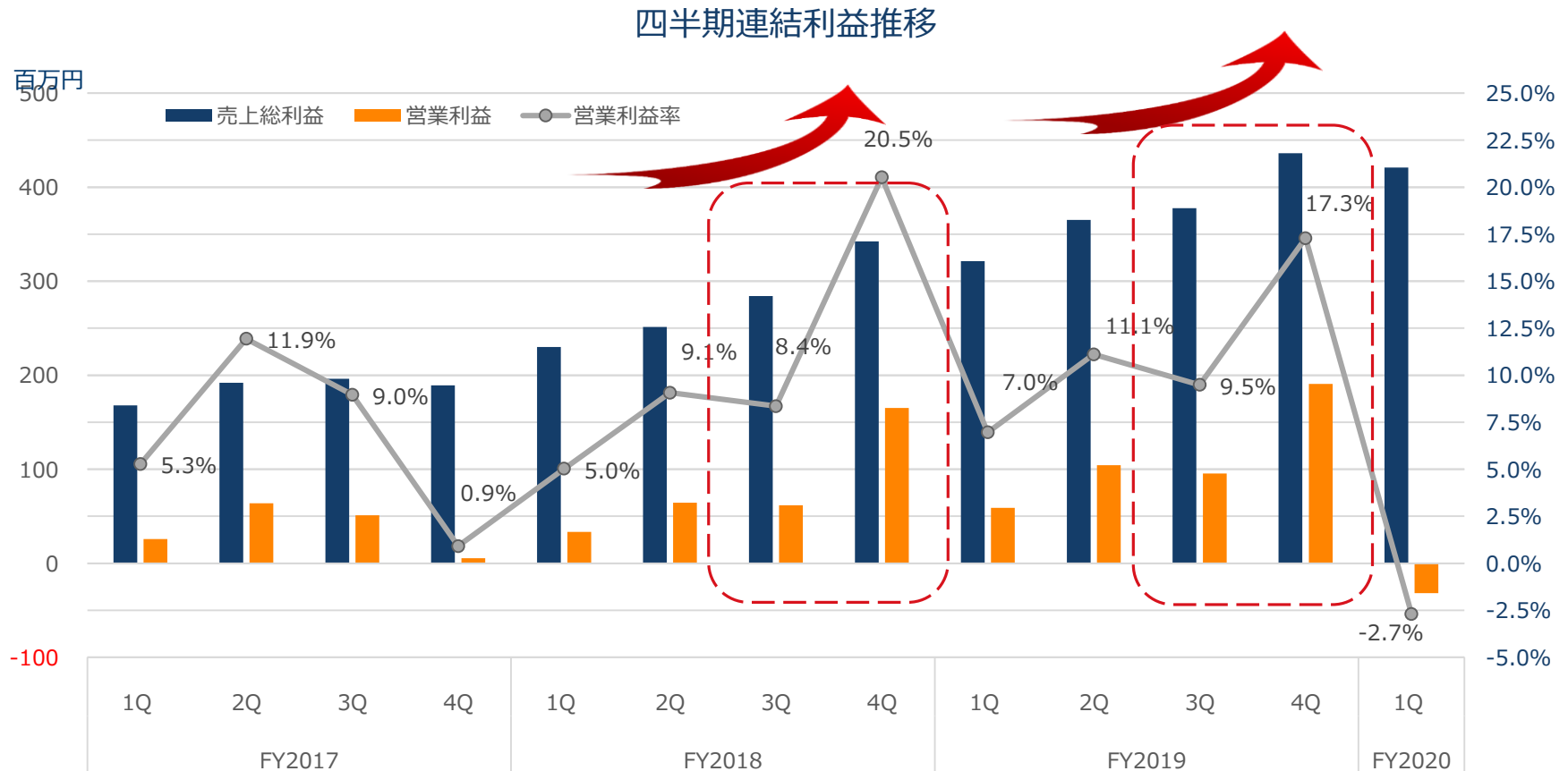
3. 四半期連結売上推移

□ 期中に採用したコンサルタントの売上が在籍期間とともに積みあがるため、売上は**下期偏重**



4. 四半期連結利益推移

□ 期中に採用したコンサルタントの利益が積みあがることにより、売上総利益、営業利益ともに**下期偏重**



※FY2017は連結範囲変更の影響を除く

5. 販売管理費明細

- 本社移転により、地代家賃、減価償却費が前年同期比で増加
- 管理部門強化のために、FY2019下期に管理部門の人員を増加させたことにより人件費が前年同期比で増加

単位：百万円	FY2019 1Q		FY2020 1Q		前期比
	実績	対売上高比	実績	対売上高比	
人件費	42	5.1%	77	6.6%	179.8%
採用教育費	66	7.8%	90	7.7%	136.4%
広告宣伝費	8	1.1%	27	1.1%	301.5%
地代家賃	19	2.3%	58	5.0%	299.6%
減価償却費	3	0.4%	27	2.3%	846.7%
その他	121	14.4%	172	14.6%	141.3%
合計	262	31.1%	452	27.0%	172.3%

6. 連結貸借対照表

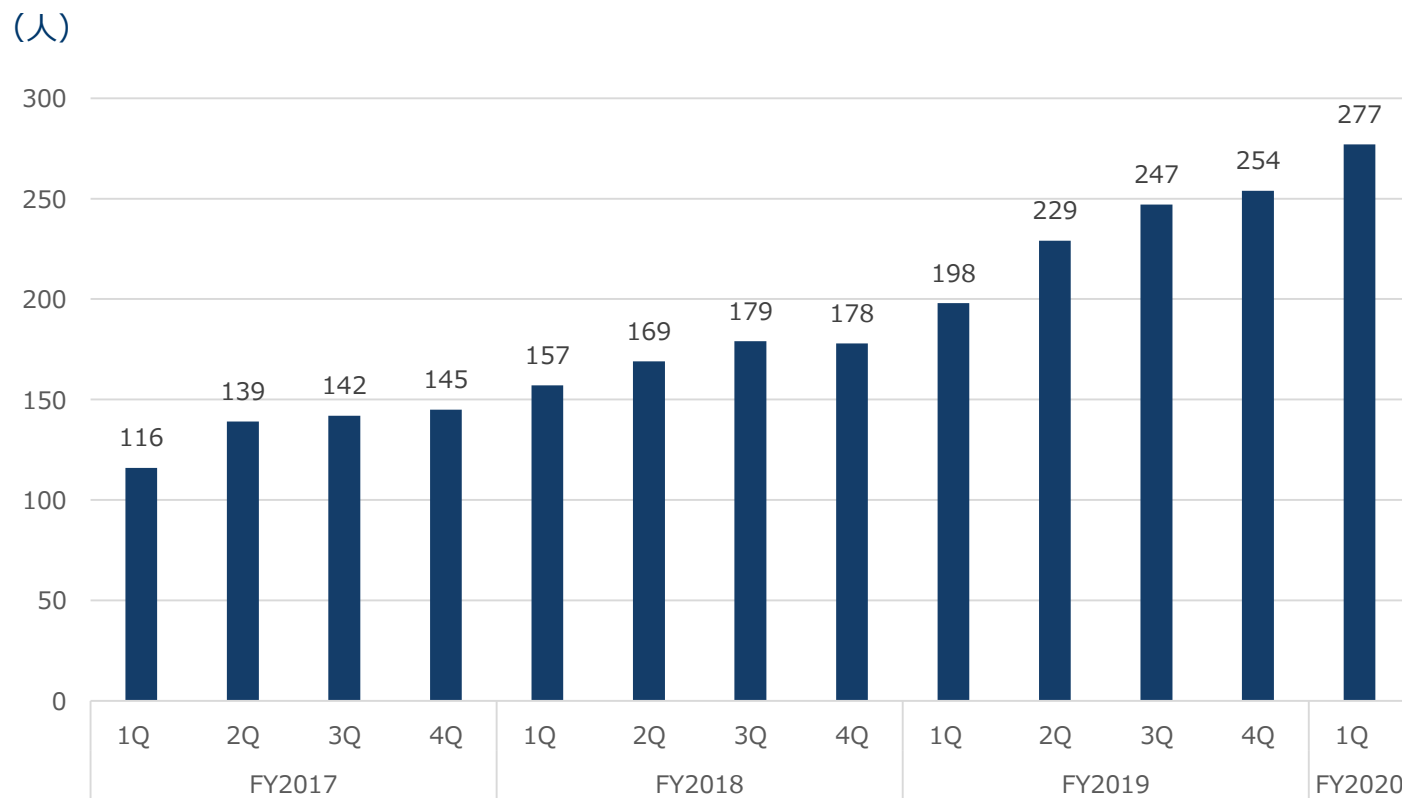
□ 自己資本比率は71.8%と健全な財務体質を維持

単位（百万円）	FY2019	FY2020 1Q	差額
総資産	2,325	2,226	△98
流動資産	1,782	1,495	△300
固定資産	543	730	201
負債	645	570	△75
純資産	1,679	1,655	305
自己資本比率	71.8%	73.9%	—

7. 各種指標 従業員数

- 当社のビジネスモデルは、「月単価×コンサルタント数×稼働率」
- 大企業との直接取引による高いリピート率（95%超）の
ストック型ビジネスモデル

従業員数の推移



FY2020 1Q
コンサルタント
採用人数

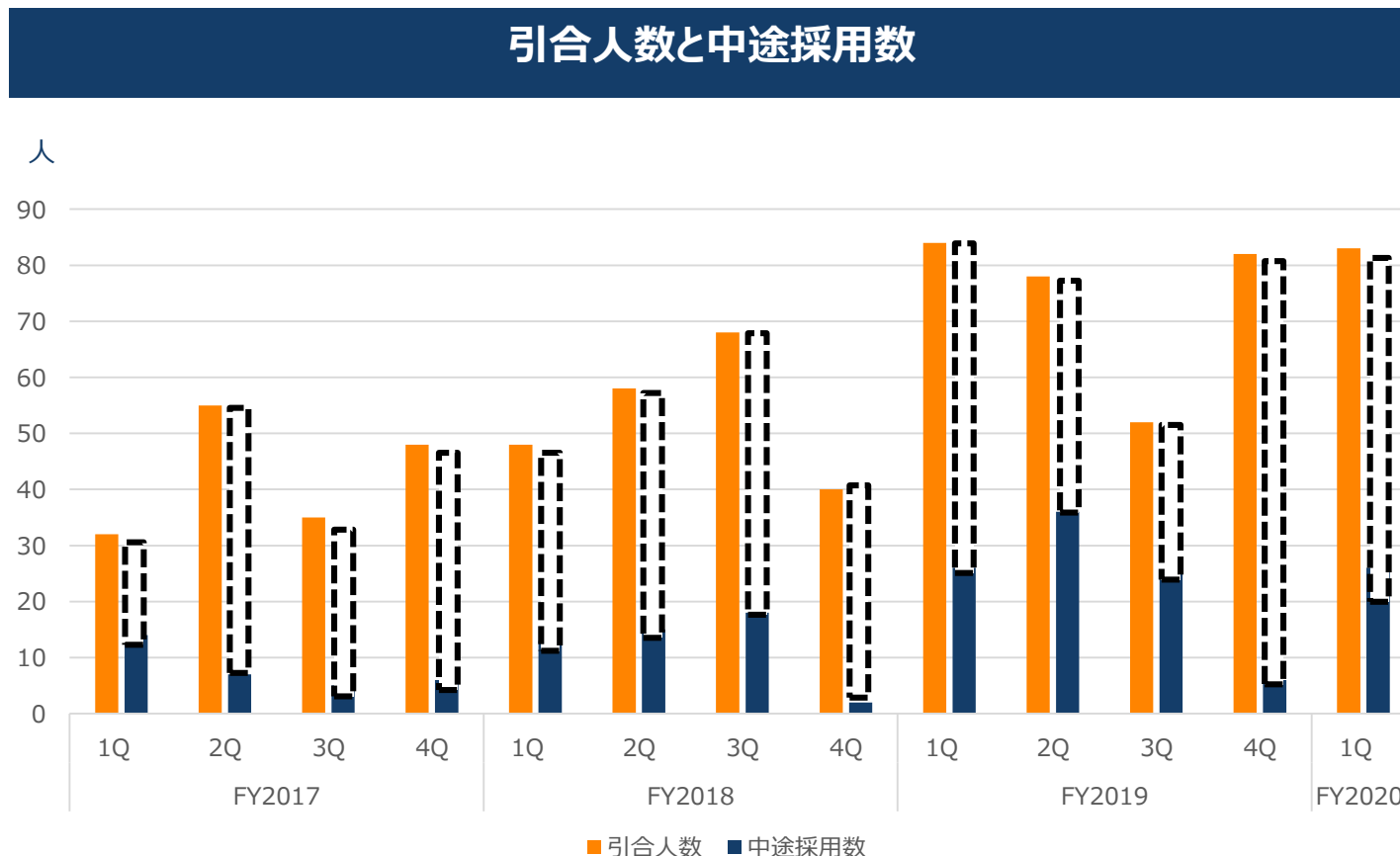
29名

コンサルタントの
稼働率

95%超

8. 各種指標 引合人数と中途採用者数

- 引合人数が中途採用数を大きく上回るため、積極的な採用を継続
- 引合人数と中途採用数の差が潜在的売上高といえる



FY2020 1Q
引合人数
83名

※引合人数とは、プロジェクト支援の依頼があった案件について、その案件を遂行するために必要な人数のこと。



2. 2020年10月期 業績予想

※2019年10月期決算説明資料より

1. 2020年10月期 通期連結業績予想

※2019年10月期決算説明資料より

□ 2025年売上高230億円達成に向け積極的投資を実施

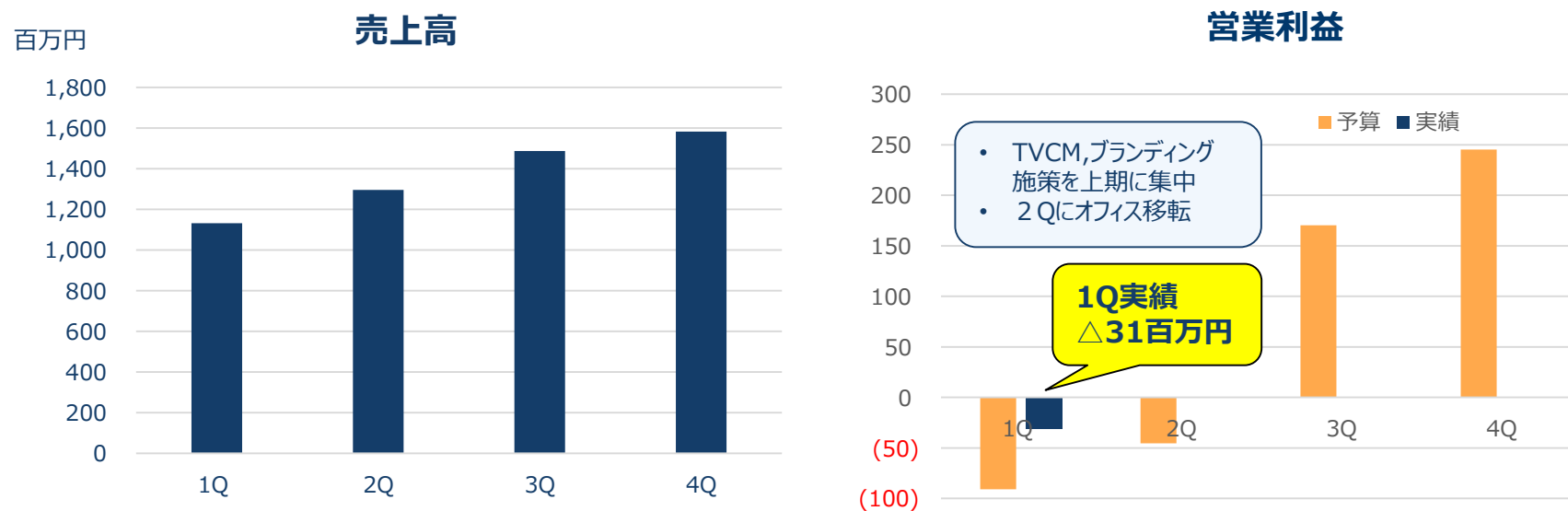
単位（百万円）	2019年10月期実績	2020年10月期計画	前年同期比
売上高	3,871	5,496	142%
営業利益	428	279	65%
経常利益	426	277	65%
当期純利益	298	165	55%

2. 2020年10月期 通期連結業績予想

※2019年10月期決算説明資料より抜粋

□ FY2020は上期に集中的に投資を実施（費用3.5億円程度）

FY2020 四半期業績推移のイメージ



コンサルタントの月単価が計画比で上振れしたことによる粗利額の増加、リファール採用の増加による採用費の減少等により、1Qの赤字額は計画を大幅に下回った。

3. 補足説明資料

1. 会社概要

会社名	株式会社マネジメントソリューションズ（略称：MSOL）
事業内容	プロジェクトマネジメントコンサルティング、プロジェクトマネジメント実行支援、プロジェクトマネジメントトレーニング
本社所在地	〒107-6223 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー23F TEL：03-5413-8808 FAX：03-5413-8809
支社	<中部支社> 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-20 名古屋三井ビルディング新館 7F
設立	2005年7月
資本金	61,225万円（2020年1月末現在）
代表取締役	高橋 信也
URL	https://www.msols.com/
子会社	MSOL TW（台湾法人） 麦嵩隆管理咨询（上海）有限公司（中国法人）

2. 社長プロフィール

代表取締役社長 CEO
高橋 信也

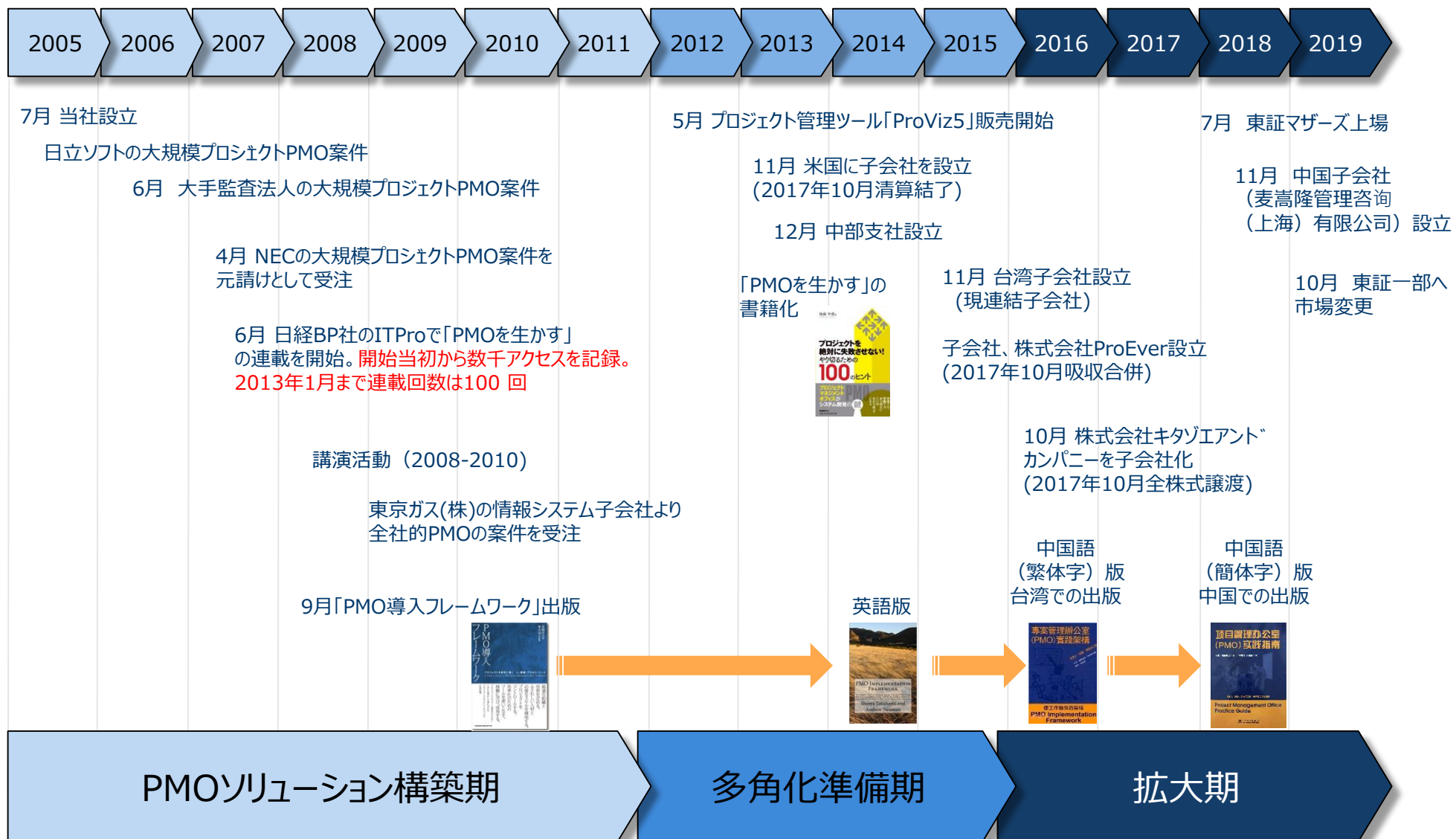


1972年 福岡市博多区生まれ
1991年 福岡県立修猷館高校卒業
1992年 上智大学経済学部経済学科入学

1996年
アンダーセンコンサルティング(株) (現アクセンチュア(株)) 入社
1999年
アーンスト&ヤングコンサルティング(株)(現(株)クニエ)入社
2003年
(株)ソニーグローバルソリューションズ入社

2005年7月
当社設立 代表取締役就任
2012年11月
当社代表取締役社長就任 (現任)
2015年11月
元嵩管理顧問股份有限公司 董事就任
2018年11月
麦嵩隆管理咨询 (上海) 有限公司 董事長就任 (現任)

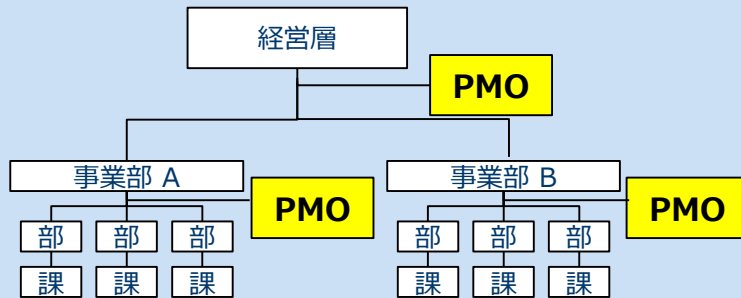
3. 沿革



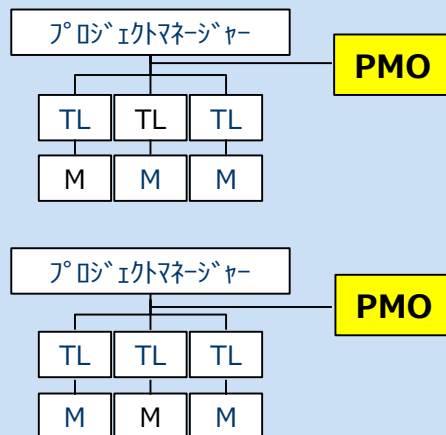
4. PMO (Project Management Office) とは

企業やプロジェクト組織に点在するPMO機能

企業



プロジェクト



PMOとは・・・

- ✓ PMOは、プロジェクト全体の進捗や課題を可視化し、プロジェクトマネージャーの意思決定支援を行う組織
- ✓ 顧客のプロジェクトにおいては、統括プロジェクトマネージャーもしくはプロジェクトマネージャーの下にPMOが設置されており、当社はPMOに対するコンサルティングおよび実行支援サービスを提供しております。

5. 市場規模と成長性 (PMOの普及)

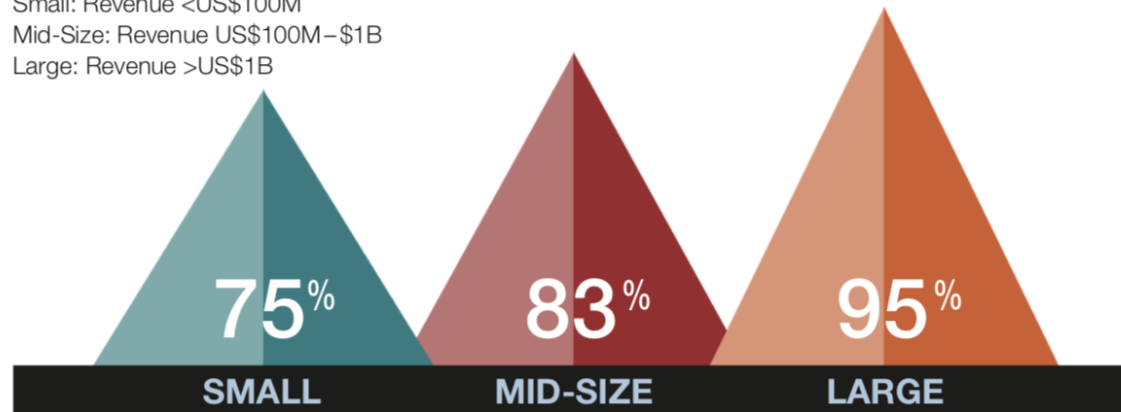
米国を中心に、PMOは普及しており、今後国内を含め、アジア全体に普及するものと考えています

Percentage of Firms with PMOs

Small: Revenue <US\$100M

Mid-Size: Revenue US\$100M-\$1B

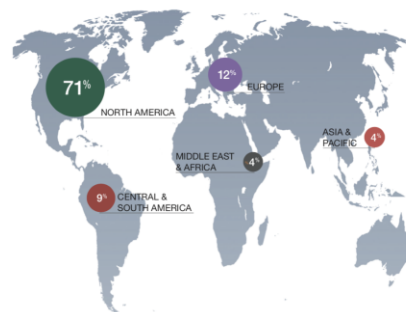
Large: Revenue >US\$1B



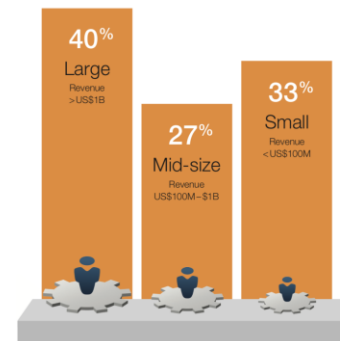
Respondents by Industry



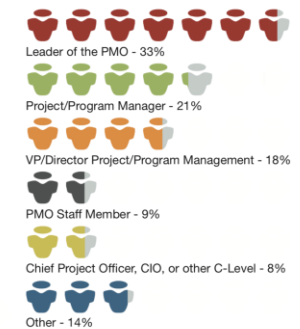
Respondents by Geography



Respondents by Size of Firm



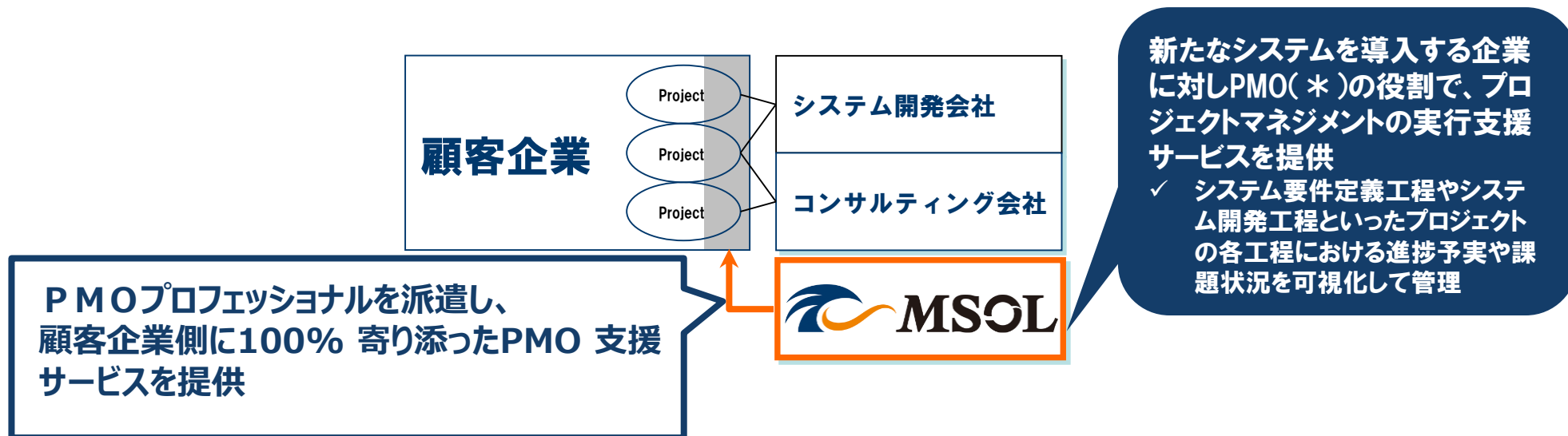
Respondents by Title



The State of the Project Management Office (PMO) 2016 : PM Solutionsより

6. 事業内容

- ✓ 発注側の立場で、プロジェクト全体のマネジメント支援を行い、高い実績により顧客企業から絶大な信頼を得ている

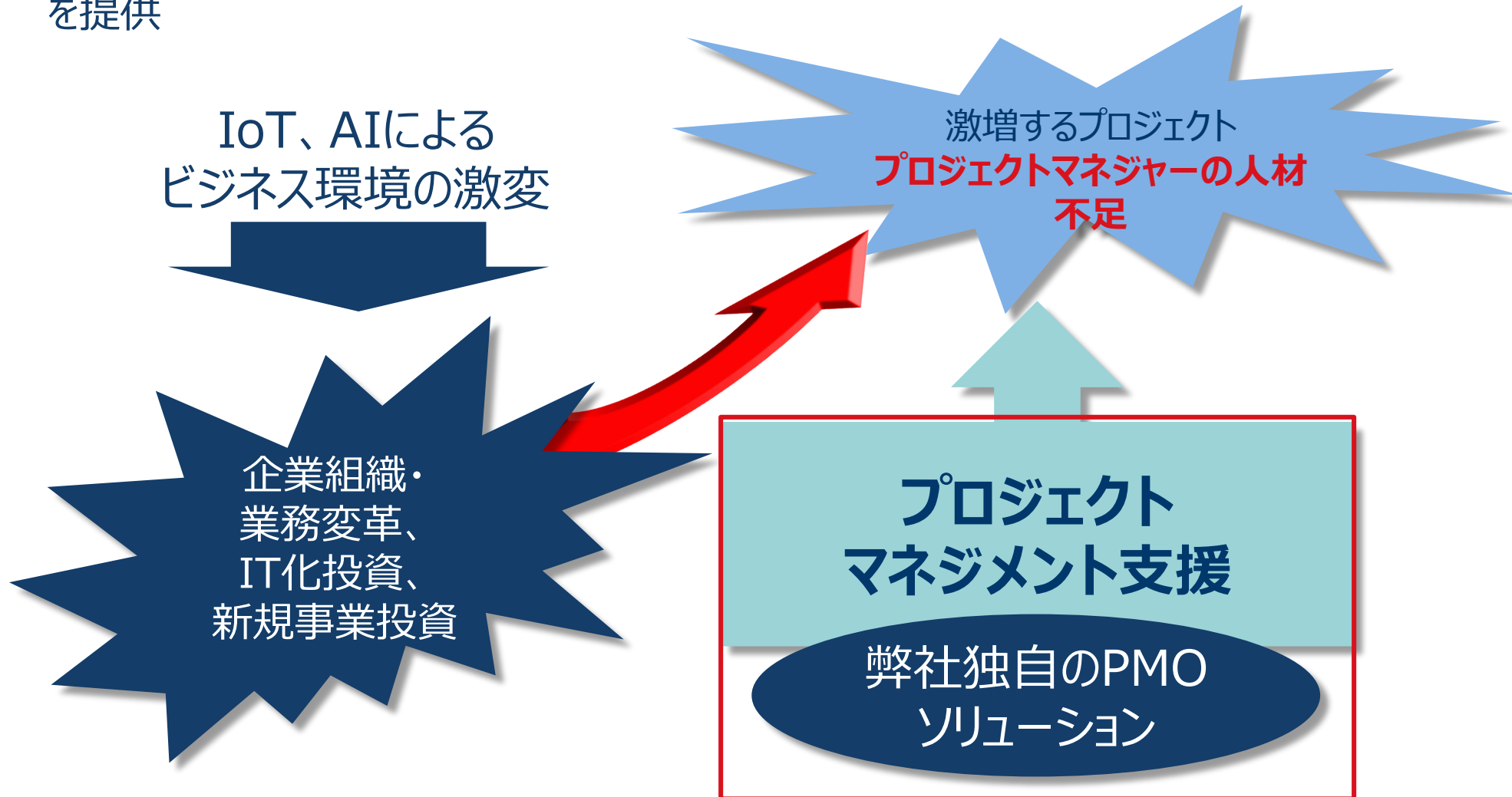


コンサルティング業界における第三の選択肢として、
幅広い層からの支援依頼を受けている

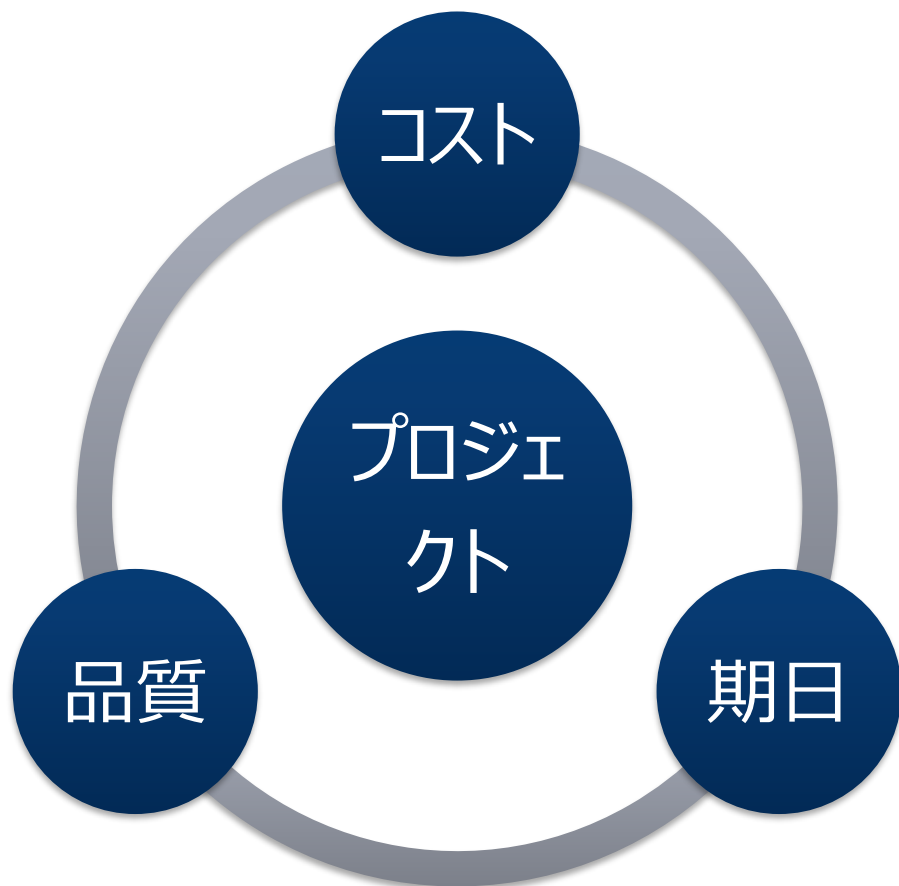
(＊) Project Management Officeの略。プロジェクトが円滑に運営されることを目的とし、プロジェクトマネージャやプロジェクトオーナーの意思決定支援を行う専門組織または役割

7. 当社の強み：国内PMOソリューションにおける独占的な立場

- ✓ プロジェクトマネジメントコンサルティングを目的に2005年7月に設立
- ✓ 激変する企業組織を現場レベルから支援する戦略実行型マネジメントコンサルティングを提供



8. プロジェクトマネジメントとは



プロジェクトマネジメントに必要な知識要素

出力 ツールと実務技法		プロセス				
入力		Initiating (立ち上げ)	Planning (計画)	Executing (実行)	Controlling (監視・管理)	Closing (終結)
知識 エリア	Integration Management (総合管理)	・プロジェクト外スコープ 記述書暫定版 作成	・プロジェクト 管理計画書作成	・プロジェクト実行 の指揮・管理	・プロジェクト 作業の監視・管理 ・統合的な 変更管理	・プロジェクト 終結
	Scope Management (スコープ管理)		・スコープ計画 ・スコープ定義 ・WBSの作成		・スコープ管理 ・スコープ変更 管理	
	Time Management (スケジュール管理)		・作業の定義 ・作業順序の設定 ・必要リソース見積もり ・所要時間の見積もり ・スケジュール作成		・スケジュール 管理	
	Cost Management (コスト管理)		・コスト見積もり ・予算設定		・コスト管理	
	Quality Management (品質管理)		・品質計画	・品質保証	・品質管理	
	Human Resource Management (組織管理)		・要員計画	・チーム結成/ 育成	・プロジェクト チームの管理	
	Communication Management (コミュニケーション管理)		・コミュニケーション計画	・情報の配付	・実績報告 ・ステークホルダー 管理	
	Risk Management (リスク管理)		・リスク管理計画 ・リスクの定義 ・リスクの定性化 ・リスクの定量化 ・リスク対策の計画		・リスクの 監視/管理	
	Procurement Management (調達管理)		・引合計画 ・契約の計画	・提案依頼 ・発注先選定	・契約管理	・契約の完了
	Stakeholders Management (ステークホルダー管理)	ステーク ホルダー特定	ステークホルダー 管理計画	ステーク ホルダー・ エンゲージド 管理	ステーク ホルダー・ エンゲージド 管理	・コントロール

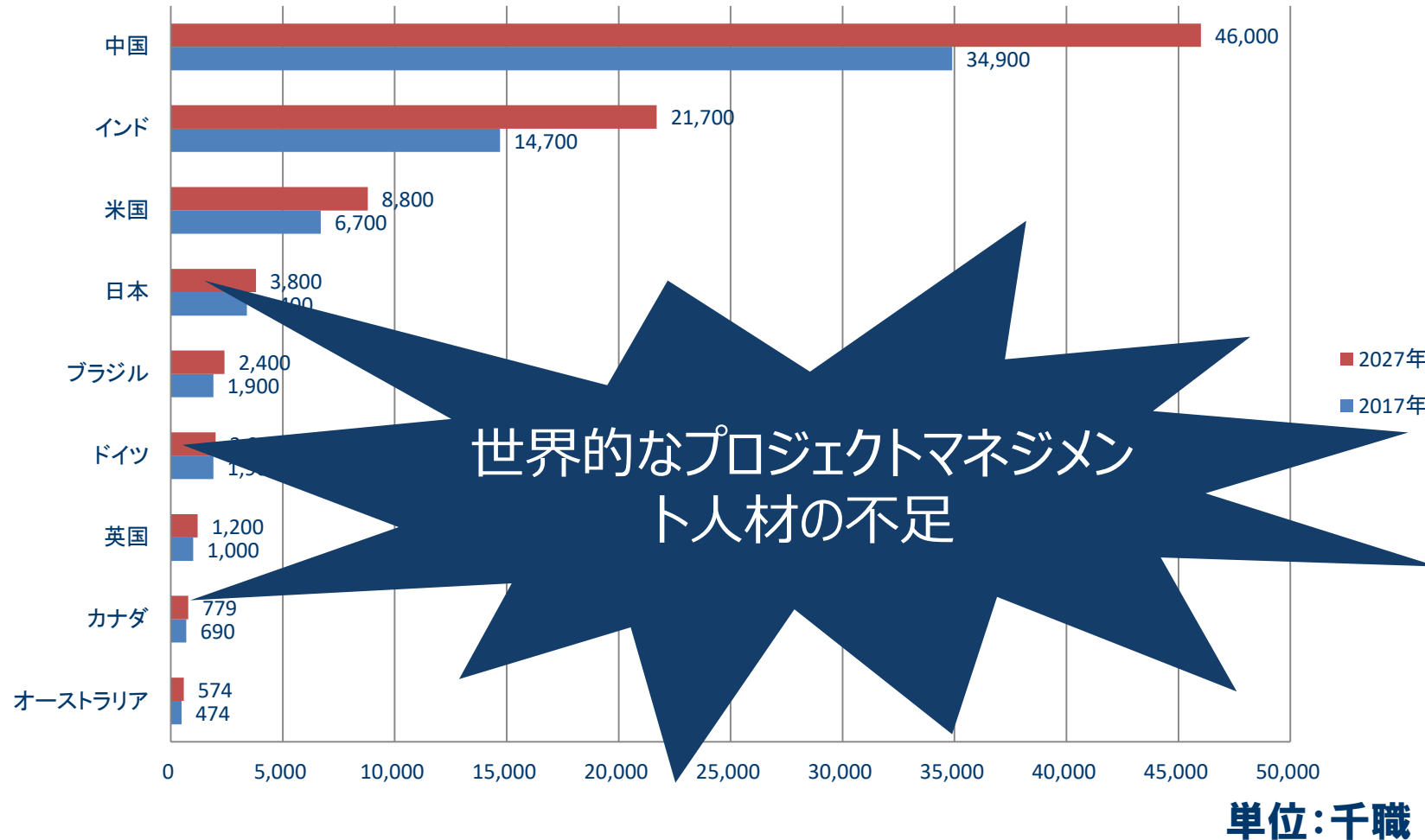
9. プロジェクトマネジメントの世界的組織

1. PMI(Project Management Institute)は、アメリカにHQのある世界最大のプロフェッショナル団体
2. 会員数50万人以上、全世界280支部、有資格者は75万人以上となっている
3. 日本支部の会員は、4000名、有資格者は約2万人となっている



10. 海外のプロジェクトマネジメントに対する需要

2017~2027年の世界のプロジェクトマネジメントに関連した雇用数予想

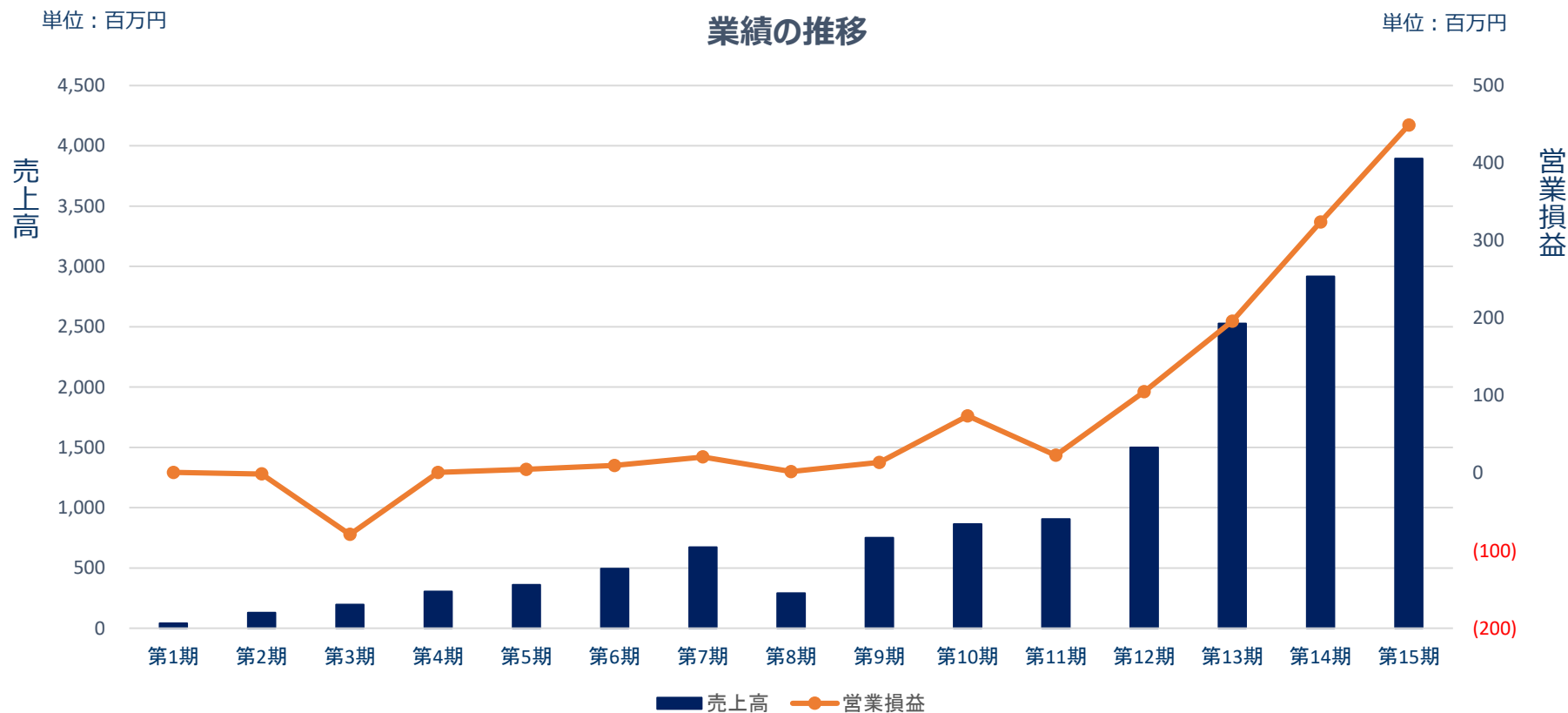


出所:PMI(Project Management Institute) “Job Growth and Talent Gap 2017-2027”より弊社作成

11. 業績の推移

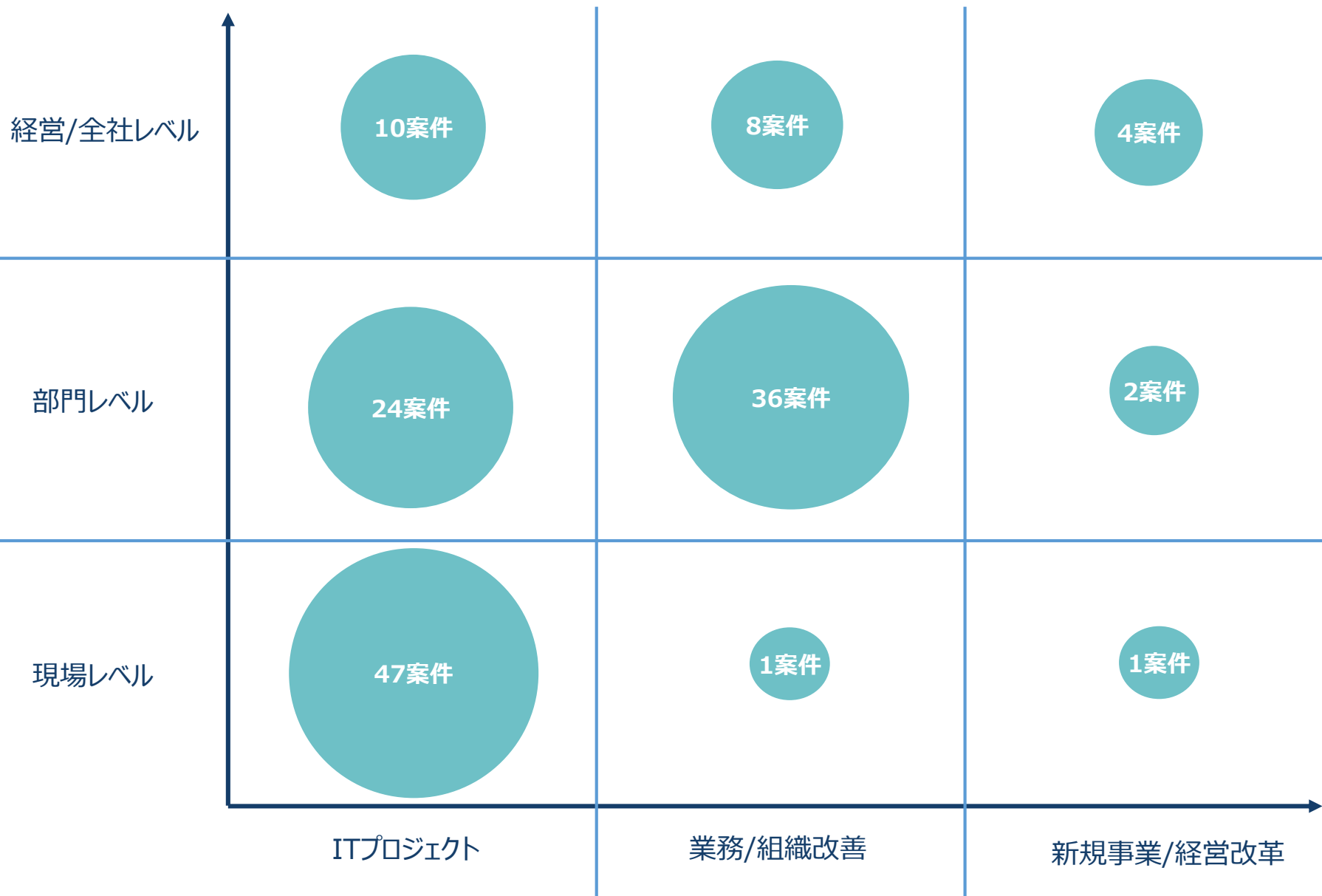
業績の推移

設立以降順調に拡大、第12期以降、急速に事業を拡大。
2018年7月に東京証券取引所マザーズ市場に上場
2019年10月に東京証券取引所第一部へ市場変更



- ※ 1. 第8期は決算期変更のため5ヶ月決算となっております。
- 2. 第1期から第11期は単体業績、第12期以降は連結業績となります。

12. 案件数



将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。